

平成26年度 いばらき輝く教師塾

学級で気になる子供たちへの 支援を考えよう

取手市立戸頭西小学校 藤田直子

戸頭西小学校の気になる子供たち

- 1 学習面（知的能力）について
- 2 言語や運動について
- 3 情緒面・人間関係について
- 4 健康状態について
- 5 生活面について

気づきやすい障害と気づきにくい障害

視覚障害
聴覚障害
身体障害
言語障害

知的障害
学習障害（LD）
注意欠陥/多動性
障害（ADHD）
自閉症スペクトラ
ム障害

知的障害



知的障害とは、発達期に起こり、記憶、推理、判断などの知的機能の発達に有意な遅れが見られ、他人との意思疎通や日常生活、社会生活への適応に困難性がある状態を言う。

子どもサポートブック「こんな子いませんか？～今からしたいアプローチ～」
日立市立教育研究所 研究報告書第161号より

学級の中で現れる状態や行動

- ひらがなやカタカナ表記に間違いが多い。
- 漢字を読んだり書いたりする技能がなかなか身に付かない。
- 計算はできて、数の概念が発達していかない。
- 先生の話している言葉の意味が理解できなくて、周りの友達を見て行動する。
- 過去の記憶が曖昧で、質問に答えられないことが多い。
- 学年相応の問題文が読めなかったり、意味が分からなかったりする。
- 評価テストでは、非常に低い得点になる。
- ゲームのルールを理解できないことが多い。

発達障害とは・・・

「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されている。

発達障害者支援法（平成十六年十二月十日法律第一六七号）より

学習障害



基本的には全般的な知的発達には遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す。

子どもサポートブック「こんな子いませんか？～今からしたいアプローチ～」
日立市立教育研究所 研究報告書第161号より

学級の中で現れる状態や行動

- 教科書をすらすらよむことができない。
つかえる・字や行をとばす・一文字ずつ読む
言葉の区切れ目が分からない
- 書くのに時間がかかる。
字の形が思い出せない・はみ出す・表記を間違える
似ている字形の判別が難しい
- 黒板を写すのに時間がかかる。
- 計算はできるのに、同じ問題でも文章題になると分からなくなる。
- 図形が苦手。不器用。
- 聞き漏らしが多い。
- 順序立てて話すことが苦手。

こんな支援が効果的

- ◆文章がすらすら読めない子には・・・
 - 単語や文節ごとに分けて、印をつける。漢字にふりがなをふる。
 - 1行ずつ指でなぞったり、定規やスリットの入った厚紙などを当てる。
- ◆板書をうつすのに時間がかかる子には・・・
 - 板書のレイアウトをいつも一定にする。マークや番号をふる。
 - 色チョークを使って、大事なところを示す。大事なところだけうつしてもいいことにする。手元に板書と同じものを置く。穴埋め式のプリントを用意する。
- ◆聞き漏らしがある子には・・・
 - 話し始める前に、注意を喚起する。（「大事だよ、3つ話すよ。」など）
 - 指示は1つずつ出すようにする。

注意欠陥/多動性障害（ADHD）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

子どもサポートブック「こんな子いませんか？～今からしたいアプローチ～」
日立市立教育研究所 研究報告書第161号より



学級の中で現れる状態や行動

- じっと座ってられない。いつもおしゃべりをしている。
- 先生の質問に、拳手をせずすぐ答えてしまう。
- 課題が始められない、終われない。
- ちょっとしたことでもイライラする。
- 活動に割り込んだり、ちょっかいを出す。
- たびたび活動を変えたがる。
- 責任を果たせない。
- 整理整頓が苦手で、忘れ物が多い。

こんな支援が効果的

- ◆じっとしてられない、手遊びをしている、おしゃべりがやめられない子には・・・
 - 机間指導でそっと肩に触れたり、個別に注意喚起をする。
 - 刺激が少なく、先生の指示がよく分かるような座席にする。
 - 机の上に出しておくものを決めておく。全体で机の中を整理する時間をとる。
 - 一緒に行って整理の仕方を教える。
- ◆大声で泣いたり、叫び声をあげたり、興奮してしまう子には・・・
 - いったん、その場から離す。（強くしかるとかえって興奮してしまう）
 - 子供の気持ちに寄り添って、泣きやむのを待つ。
 - 日ごろから、行動の前後を観察する。（その子なりの理由があるはず）
 - 周りの子供には、静かに見守ってくれるように話しておく。

自閉症スペクトラム障害



自閉症スペクトラム障害とは、自閉性障害、アスペルガー障害、レット障害、小児崩壊性障害、特定不能の広汎性発達障害のことを言う。広汎性発達障害の連続体として捉えたもの。

子どもサポートブック「こんな子いませんか？～今からしたいアプローチ～」

日立市立教育研究所 研究報告書第161号より

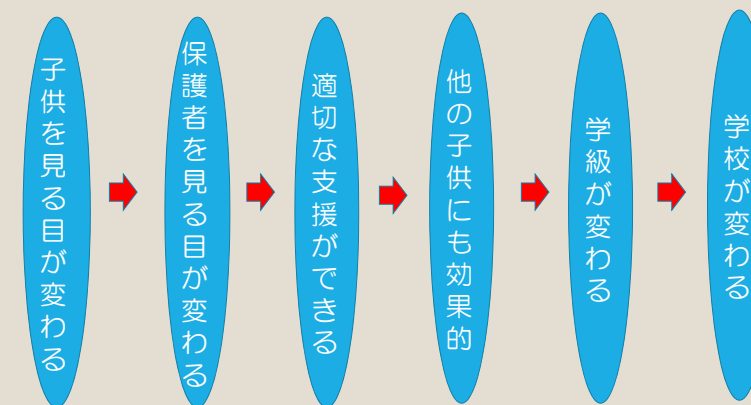
学級の中で現れる状態や行動

- 視線が合いにくい。呼んでも振り向かない。
- 表情が乏しく、身振り手振りなどを適切に用いない。
- 会話のキャッチボールがうまくいかない。
- 集団遊びが苦手。感情を共有できない。
- 興味が狭く、特定の知識は大人顔負け。
- 同じ質問をしたり、同じ行動をしたりする。
- 変化が苦手。（時間割や日課の変更など）
- こだわりがある。（順番や勝ち負け、得点など）
- 音に過敏で、耳をふさいだりする。

こんな支援が効果的

- ◆ 友達と遊ぶのが苦手な子には・・・
どのように遊んでいるのかを見せて安心させる。遊び方やルールを教える。
「いれて」など、加わるきっかけの言葉を教える。
少人数の友達と遊ぶことから始める。
- ◆ 変化が苦手な子には・・・
1日のスケジュールを示しておく。変更は、事前に知らせておく。
始まるの時刻や終わりの時刻を示しておく。
- ◆ 順番や勝ち負けにこだわりがある子には・・・
事前に勝ち負けがあるゲームであることを話しておく。
勝つことを目当てにせず、目標を別にもたせる。
負けたときの悔しさを表現できるように教える。

発達障害の特性を理解できると・・・



ご清聴ありがとうございました。
皆様のご活躍を心からご期待申し上げます。

